

令和元年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「幼稚園教育要領」では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が明確になり、幼小接続が大きな名題になっている。本園においても、環境を通して行なう教育を基本とし、社会との連携及び協働により、資質・能力の向上を図る為「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の三点を重視する。そして、幼児期の特性を捉え、教育に対し感謝の気持ちを持ち、のびのびと明るく元気に安心して過ごせる園を目指し、自分の力で人生を切り開き、社会のために尽くす子どもを育成する。

- 1、四條畷学園の建学の精神「報恩感謝」、教育理念「人をつくる」、教育方針「個性の尊重」「明朗と自主」「実行から学べ」「礼儀と品性」を推進するために、「YYプロジェクト（ヨコミネ式教育法）」を教育メゾットとし、豊かな人間形成の基礎を育む。
- 2、安心・安全な環境のもとで集団生活を送り、基本的な生活習慣を身に付けるとともに、子どもが主体的に活動しようとする積極的な態度を養う。
- 3、遊びや活動を通して、自然や社会に対する関心を広げ、人との触れ合いや協力を通して、基本的な信頼感や心身の調和した発達の基礎を培う。
- 4、子ども一人ひとりをよく見守り、子どもの健全な成長を促すことができるよう、その個性・特性に応じた指導を行なう。
- 5、保護者や地域と連携・協力し、より多様な教育環境を創り出すことによって、子どもの生活体験を豊かにし、いきいきとのびやかな成長を促す。

2 中期的目標

1、心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎と感謝の心を培う。

- (1) 思いやりと優しさのある子どもに育てる。(心の力)
- (2) 自ら考えて行動する子どもを育てる。(学ぶ力)
- (3) 健康で明るく活発な子どもを育てる。(体の力)
- (4) 建学の精神「報恩感謝」をあらゆる機会を通して培う。

2、基本的な生活習慣の形成と規範意識を高め、社会のマナーを身に付ける。

- (1) 基本的な生活習慣の形成とルールを守ることやマナーを身に付ける。
- (2) 集団生活に必要な思考力、態度と行動を身に付ける。

3、安全・安心な教育環境を整え、子どもが自発的な活動としての遊びを通しての総合的な指導を行ない、一体的に積極的で活発な活動を促す。

- (1) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保するとともに、危険を回避する力を身に付ける。
- (2) 子どもが安心して楽しく生活できる環境を整備し、興味や関心を広げる。
- (3) 自然や社会に触れて感じたり理解したりすることができる環境を整備する。

4、教育課程を通して積極的に取り組む行動や友達と助け合い協力する態度を身に付ける。

- (1) 運動や戸外の遊びを楽しみ、意欲を高め挑戦しようとする気持ちや技能を養う。
- (2) 読む・書く・数えることに興味や関心を持ち、考える力・表現する力を身に付ける。
- (3) 友達と一緒に喜んで活動に取り組み、努力することや力を合わせることの大切さを学ぶ。

5、子どもの個性・発達・特性に応じた指導を丁寧に行なう。

- (1) 子どもの個性の違いを踏まえて一人ひとりに適切な援助を行なう。
- (2) 子どもの成長や発達、特性の違いを踏まえてその子に応じた支援を行なう。

6、保護者・地域社会・小学校と連携した円滑な教育活動を実施する。

- (1) 保護者と連携しながら意識を高め、充実を図り共に子どもを育てる。
- (2) 地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動（見学会・子育て相談・談話会・園庭開放など）を実施する。
- (3) 幼稚園・保育園・認定子ども園・小学校との情報の共有や教育課程・保育課程について理解を深め円滑な接続を図る。

【自己評価アンケート、自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

○学校教育自己診断の結果と分析「令和元年7月、11月実施」	○学校協議会からの意見																																																																																																								
<p>・評価項目：教育活動及び学校に対する全体評価を行なう。 ・評価方法：各項目について、5段階で行なう。</p> <p>5：その通りである 4：どちらかといえばその通りである 3：どちらともいえない 2：どちらかといえば違う 1：まったく違う</p> <p>1、保護者アンケート集計結果推移 「3年間平均推移」</p>	<p>「学校評価委員会」を開催（令和元年 12月開催）</p> <p>四條畷学園大学附属幼稚園は、幼稚園教育要領を基盤に置き、建学の精神「報恩感謝」を中心に、それを実践するために、YYプロジェクト（ヨコミネ式教育法）の導入という教育基盤がはっきりしており、それが保護者評価に繋がっていると思われる。</p> <p>小学校への連携やその後の学習を考えた時に幼稚園教育の五領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）に重点を置くだけでなく、保育内容を毎年見直しているとの報告を幼稚園側からも聞いており、子ども達の特徴を把握しながら「成長」に繋げていくことを目標にしている点は、これからも大切にしていきたいことである。</p> <p>幼稚園での生活環境は、家庭での「個」の生活から「集団」の生活への移行であり、子どもの成長を左右するものである。園児達の動きが、一人の教員に偏らないように、情報共有とチームワークを大切にして、今まで同様、日々の保育に繋げて欲しいと願う。</p> <p>学園内の設備状況においては、法人本部が中心になり、点検・補修等に努めているとの報告を受けているが、優先順位等を考慮しながらも、安心・安全のため適切な時期に適切に行なっていただくことを要望する。</p> <p>マナー教育や躰教育においては、幼稚園だけに任せるのではなく、保護者も協力が必要と思う。その点、家庭での躰も考慮し、挨拶とお礼が自然に言えるようにしていきたいと思っている。</p> <p>今年度の運動会やいもほり等でも天候不良等による順延や変更があったが、すべての保護者が納得する方策は難しいのはよく分かるので、最近のように早め早めの判断、連絡を今後もお願したい。</p> <p>安全面では、法人本部が中心となって統括的にセキュリティー対策に取り組んでいると聞いている。園からの連絡方法の「ミマモルメ」が100%の登録率であることは、頼れる連絡手段として捉えている。</p> <p>園情報の発信については、Instagram等がよく分かり、保護者としても安心できる。園児の顔にぼかしを入れたり、ゼッケン名を隠したりしている点は、個人情報保護とSNSの悪用を防ぐためであることも理解している。これからも色々な情報を流してほしいと思う。</p> <p>今後より重要視される「預かり保育」の運営（手続きを含めて）は、幼児教育・保育の無償化と次年度からの幼稚園型認定こども園移行に際して、ICT化を導入すると聞いているので、その利便性に期待したい。</p> <p>「課外教室」においては、保護者ニーズと社会性と鑑みて、検討とそれに伴う改善を要望する。</p>																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>質 問 項 目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1, 四條畷学園大学附属幼稚園に入園してよかった</td><td>4.68</td><td>4.57</td><td>4.61</td></tr> <tr><td>2, 教育の目的や目標が子ども達の育ちに生かされている</td><td>4.46</td><td>4.37</td><td>4.57</td></tr> <tr><td>3, 先生は相談しやすい</td><td>4.48</td><td>4.42</td><td>4.45</td></tr> <tr><td>4, 先生は保護者との信頼関係を築く努力をしている</td><td>4.5</td><td>4.42</td><td>4.41</td></tr> <tr><td>5, 相談などに対して誠実に対応し連携を図っている</td><td>4.47</td><td>4.43</td><td>4.41</td></tr> <tr><td>6, 子ども達は先生に親しみを持っている</td><td>4.65</td><td>4.65</td><td>4.58</td></tr> <tr><td>7, 子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっている</td><td>4.39</td><td>4.39</td><td>4.4</td></tr> <tr><td>8, 幼稚園の環境・施設・設備はよい</td><td>4.65</td><td>4.64</td><td>4.64</td></tr> <tr><td>9, 環境整備や掃除が行き届き子どもが生活しやすい環境になっている</td><td>4.7</td><td>4.72</td><td>4.74</td></tr> <tr><td>10, 子ども達はマナーを身につけてきている</td><td>4.3</td><td>4.31</td><td>4.38</td></tr> <tr><td>11, 集団生活に必要な態度と行動が身につけてきている</td><td>4.37</td><td>4.35</td><td>4.44</td></tr> <tr><td>12, 挨拶や片付けができてきている</td><td>4.15</td><td>4.13</td><td>4.26</td></tr> <tr><td>13, 保育内容は充実している</td><td>4.39</td><td>4.31</td><td>4.39</td></tr> <tr><td>14, 心の力がしっかり育まれる保育を行なっている</td><td>4.24</td><td>4.2</td><td>4.26</td></tr> <tr><td>15, 学ぶ力がしっかり育まれる保育を行なっている</td><td>4.47</td><td>4.42</td><td>4.49</td></tr> <tr><td>16, 体の力がしっかり育まれる保育を行なっている</td><td>4.65</td><td>4.62</td><td>4.65</td></tr> <tr><td>17, 子ども達の参加する行事に満足している</td><td>4.25</td><td>4.2</td><td>4.38</td></tr> <tr><td>18, 園に行くことを楽しみにして喜んで行事に参加している</td><td>4.44</td><td>4.43</td><td>4.4</td></tr> <tr><td>19, 園の行事に保護者や地域の人が参加しやすいように工夫されている</td><td>4.02</td><td>3.92</td><td>4.14</td></tr> <tr><td>20, 子ども達への安全確保（セキュリティー）に注意が払われている</td><td>4.28</td><td>4.24</td><td>4.22</td></tr> <tr><td>21, 子どもが安心して生活できる環境設備になっている</td><td>4.49</td><td>4.42</td><td>4.46</td></tr> <tr><td>22, 幼稚園からの緊急連絡が速やかに伝わるように工夫されている</td><td>4.49</td><td>4.5</td><td>4.54</td></tr> <tr><td>23, 幼稚園の情報や活動を園便りやホームページなどで分かりやすく伝えられている</td><td>4.36</td><td>4.26</td><td>4.32</td></tr> <tr><td>24, 預かり保育は利用しやすく安心して預けることができる</td><td>3.9</td><td>3.7</td><td>3.79</td></tr> <tr><td>25, 課外教室は豊富で選びやすく満足している</td><td>3.96</td><td>3.92</td><td>4.11</td></tr> </tbody> </table>	質 問 項 目	H29	H30	R1	1, 四條畷学園大学附属幼稚園に入園してよかった	4.68	4.57	4.61	2, 教育の目的や目標が子ども達の育ちに生かされている	4.46	4.37	4.57	3, 先生は相談しやすい	4.48	4.42	4.45	4, 先生は保護者との信頼関係を築く努力をしている	4.5	4.42	4.41	5, 相談などに対して誠実に対応し連携を図っている	4.47	4.43	4.41	6, 子ども達は先生に親しみを持っている	4.65	4.65	4.58	7, 子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっている	4.39	4.39	4.4	8, 幼稚園の環境・施設・設備はよい	4.65	4.64	4.64	9, 環境整備や掃除が行き届き子どもが生活しやすい環境になっている	4.7	4.72	4.74	10, 子ども達はマナーを身につけてきている	4.3	4.31	4.38	11, 集団生活に必要な態度と行動が身につけてきている	4.37	4.35	4.44	12, 挨拶や片付けができてきている	4.15	4.13	4.26	13, 保育内容は充実している	4.39	4.31	4.39	14, 心の力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.24	4.2	4.26	15, 学ぶ力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.47	4.42	4.49	16, 体の力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.65	4.62	4.65	17, 子ども達の参加する行事に満足している	4.25	4.2	4.38	18, 園に行くことを楽しみにして喜んで行事に参加している	4.44	4.43	4.4	19, 園の行事に保護者や地域の人が参加しやすいように工夫されている	4.02	3.92	4.14	20, 子ども達への安全確保（セキュリティー）に注意が払われている	4.28	4.24	4.22	21, 子どもが安心して生活できる環境設備になっている	4.49	4.42	4.46	22, 幼稚園からの緊急連絡が速やかに伝わるように工夫されている	4.49	4.5	4.54	23, 幼稚園の情報や活動を園便りやホームページなどで分かりやすく伝えられている	4.36	4.26	4.32	24, 預かり保育は利用しやすく安心して預けることができる	3.9	3.7	3.79	25, 課外教室は豊富で選びやすく満足している	3.96	3.92	4.11	
質 問 項 目	H29	H30	R1																																																																																																						
1, 四條畷学園大学附属幼稚園に入園してよかった	4.68	4.57	4.61																																																																																																						
2, 教育の目的や目標が子ども達の育ちに生かされている	4.46	4.37	4.57																																																																																																						
3, 先生は相談しやすい	4.48	4.42	4.45																																																																																																						
4, 先生は保護者との信頼関係を築く努力をしている	4.5	4.42	4.41																																																																																																						
5, 相談などに対して誠実に対応し連携を図っている	4.47	4.43	4.41																																																																																																						
6, 子ども達は先生に親しみを持っている	4.65	4.65	4.58																																																																																																						
7, 子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっている	4.39	4.39	4.4																																																																																																						
8, 幼稚園の環境・施設・設備はよい	4.65	4.64	4.64																																																																																																						
9, 環境整備や掃除が行き届き子どもが生活しやすい環境になっている	4.7	4.72	4.74																																																																																																						
10, 子ども達はマナーを身につけてきている	4.3	4.31	4.38																																																																																																						
11, 集団生活に必要な態度と行動が身につけてきている	4.37	4.35	4.44																																																																																																						
12, 挨拶や片付けができてきている	4.15	4.13	4.26																																																																																																						
13, 保育内容は充実している	4.39	4.31	4.39																																																																																																						
14, 心の力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.24	4.2	4.26																																																																																																						
15, 学ぶ力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.47	4.42	4.49																																																																																																						
16, 体の力がしっかり育まれる保育を行なっている	4.65	4.62	4.65																																																																																																						
17, 子ども達の参加する行事に満足している	4.25	4.2	4.38																																																																																																						
18, 園に行くことを楽しみにして喜んで行事に参加している	4.44	4.43	4.4																																																																																																						
19, 園の行事に保護者や地域の人が参加しやすいように工夫されている	4.02	3.92	4.14																																																																																																						
20, 子ども達への安全確保（セキュリティー）に注意が払われている	4.28	4.24	4.22																																																																																																						
21, 子どもが安心して生活できる環境設備になっている	4.49	4.42	4.46																																																																																																						
22, 幼稚園からの緊急連絡が速やかに伝わるように工夫されている	4.49	4.5	4.54																																																																																																						
23, 幼稚園の情報や活動を園便りやホームページなどで分かりやすく伝えられている	4.36	4.26	4.32																																																																																																						
24, 預かり保育は利用しやすく安心して預けることができる	3.9	3.7	3.79																																																																																																						
25, 課外教室は豊富で選びやすく満足している	3.96	3.92	4.11																																																																																																						

自己評価アンケート結果と分析（令和元年度 11 月実施）

- ◎評価項目：教育（保育）活動及び幼稚園に対する全体的評価を行なった
- ◎評価方法：各項目について 5 段階で評価を行なった（小数点第 2 位を四捨五入）
- ◎参考資料として令和元年度保護者アンケートの数値を添えた

α H30 年度と比較して… ↑ up ↓ down

β H30 年度同じ数値 →

① 心身の健全な成長

- 1、子ども達は心身共に目標通り成長できていると思う ↓ 0.3down して 3.8
- 2、温もりのある保育を実践しながら思いやりの気持ちを育てていると思う ↓ 0.1down して 4.1
- 3、子どもの育ちから四條畷学園大学附属幼稚園に勤務して良かったと思う ↓ 0.3down して 4.1

② 基本的な習慣とマナー

- 4、子ども達は全体的にマナーを身に付けてきていると思う ↓ 0.1down して 3.9
- 5、学年の全体的な生活習慣は身に付いてきていると思う ↓ 0.2down して 3.8
- 6、挨拶や整理整頓についての指導ができていていると思う →で 4.0
- 7、食事に関して正しい習慣が身に付いてきていると思う ↓ 0.1down して 3.9
- 8、きまりを知り守ろうとする気持ちや物事の善悪を理解する心が育っていると思う ↓ 0.1down して 3.9

③ 安全・安心な教育環境と子どもの活発な活動

- 9、子ども達への安全確保（セキュリティ）に注意が払われていると思う ↓ 0.4down して 3.8
- 10、子ども達が安心して生活できる環境になっていると思う ↓ 0.3down して 4.0
- 11、園からの緊急連絡が速やかに伝わるよう工夫された体制が整っていると思う ↓ 0.2down して 4.0

④ 積極性や協力する態度を養う教育課程

- 12、保育内容は充実していると思う ↓ 0.2down して 4.4
- 13、子ども達に心の力が目標通り育まれていると思う ↓ 0.2down して 3.8
- 14、子ども達に学ぶ力が目標通り育まれていると思う ↓ 0.3down して 3.9
- 15、子ども達に体の力が目標通り育まれていると思う ↓ 0.3down して 4.0
- 16、園に行くことを楽しみにして喜んで行事にも参加していると思う →で 4.2

⑤ 子どもの個性・特性に応じた指導

- 17、子ども達は先生に親しみ信頼関係はよいと思う ↓ 0.1down して 4.1
- 18、個々の成長、発達、特性の違いを踏まえた指導支援ができていていると思う ↓ 0.2down して 4.0
- 19、子ども一人ひとりを大切に受け止めた指導を行なっていると思う ↓ 0.2down して 4.0
- 20、課外教室は豊富で選びやすく満足できると思う ↓ 0.1down して 4.0

⑥ 保護者・地域と連携した教育活動

- 21、保護者との信頼関係を築く努力をしていると思う →で 4.2
- 22、保護者から相談を受けることが多いと思う ↓ 0.1down して 3.5
- 23、保護者の相談などに対して誠実に対応し連携を図っていると思う ↓ 0.4down して 4.0

⑦ 教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実

- 24、預かり保育は利用しやすく安心して預けることができると思う ↓ 0.2down して 3.7
- 25、ねらいや目標に向かって日々研究し努力していると思う ↓ 0.5down して 3.8
- 26、自分の目標は現時点で達成に近づいていると思う ↓ 0.4 down して 3.5
- 27、子どもにあった環境を見つめ意欲が高まるよう取り組んでいると思う ↓ 0.3down して 4.0

総 括

保護者アンケートと幼稚園側の自己評価アンケートとの推移に差があるのは、先生方がより厳しく自己を評価されていると思われるが、更に信頼される幼稚園を目指して、日々の保育をこれからもお願いしたい。

その中で特に幼稚園と保護者との連携の面では、幼稚園側の ICT 化による利便性の向上と保護者側の連絡・相談などの確実性との間で、意識の差があるように思われる。具体的には、保護者からの「お手紙」に代表される連絡方法において、担任が確認したというサインがないので、子どもが出し忘れたのではないかという不安が残る。今年度より最年少組もスタートし、幼児期での 4 学年体制における月齢の面を捉えると、それぞれの学年に応じたコミュニケーションアップの具体策の検討を感じる。その方法の一つとして、連携を図り、信頼関係を築くツールとして今までの「お手紙」に代わる「連絡ノート等」の検討をお願いしたい。

幼稚園を取り巻く環境は、目まぐるしく変化し、次年度からの「幼稚園型認定こども園」での教育・保育内容のイメージは、幼稚園が主導を取り、「幼児教育・保育の無償化」における手続きの煩雑さなどは、法人本部からの指導を仰いでいただきたい。

「園全体」

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
<p>1 心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎と感謝の心を培います。</p>	<p>1、建学の精神「報恩感謝」を実践し、子ども達が持つ可能性を最大限に引き出す手段として、「YYプロジェクト（ヨコミネ式教育法）」を更に推進します。</p> <p>2、感謝の気持ちを培い、表現できるようにします。</p>	<p>1、建学の精神「報恩感謝」実践のため、「YYプロジェクト（ヨコミネ式教育法）」を推進していきます。</p> <p>①「心の力」…思いやりと優しさのある子どもに育てます。</p> <p>②「学ぶ力」…自ら考えて行動する子どもに育てます。</p> <p>③「体の力」…丈夫で健康な子どもに育てます。</p> <p>①②③をバランスよく育み、人間的に自立し、自分の力で夢を実現できるようにします。</p> <p>2、感謝の気持ちを持ち、表現できるような環境整備をします。</p> <p>I 「ありがとう」の文集作りや勤労感謝の日には、働く人に感謝の品を渡し、また、常に感謝の気持ちを表現できるようにします。</p>	<p>1、建学の精神「報恩感謝」の実践「4. 0」</p> <p>①思いやりと優しさのある子ども（心の力）を育成します。「4. 0」</p> <p>I 体操や学習、生活面で困っている子の力になることができにします。</p> <p>II 生活面でも気が付いて進んで手伝いができるようにします。</p> <p>②自ら考えて行動する子ども（学ぶ力）を育成します。「4. 0」</p> <p>I 挨拶・衣服の着脱・うがい・手洗いなどの時間を考えてできるようにします。</p> <p>II 次の活動で何をするのかを考え行動できるようにします。</p> <p>③丈夫で健康な子ども（体の力）を育成します。「4. 0」</p> <p>I かけっこやリレーで体力をつけるようにします。</p> <p>II 基本の柔軟体操ができるようにします。</p> <p>III 保育全般に渡って、十分に体を動かすようにします。</p> <p>2、感謝の気持ちを持ち、表現できるような環境整備作り「4. 0」</p> <p>I 文集作りや働く人に感謝の気持ちを持つ環境を作り、また、感謝の気持ちを表す機会を常に作り、「ありがとうございました。」と自然に口にできる環境を作ります。</p>	<p>1、幼稚園教育要領を基に、建学の精神である「報恩感謝」を実践するための手段として取り入れていた「YYプロジェクト（ヨコミネ式教育法）」の評価。「4. 3」</p> <p>「心の力」「学ぶ力」「体の力」の育成に関しては、保護者アンケートで4.2～4.6。教職員アンケートでは4.0～4.3と高評価を得た。日本幼児活動研究会とより詳細な打合せをこれからも続けていく。</p> <p>2、感謝の気持ちを持ち、表現できるような環境整備作りの評価。「4. 4」</p> <p>I 建学の精神「報恩感謝」は、園児、保護者に伝えていかなければならない、一番大切なものと自覚して取り組んだ。</p>
<p>2 基本的な生活習慣の形成と規範意識を高め、社会のマナーを身に付けます。</p>	<p>1、基本的な生活習慣の形成とルールを守ることやマナー意識を身に付けます。</p> <p>2、集団生活に必要な思考力、態度と行動を養います。</p>	<p>1、基本的な生活習慣の形成、ルール順守、またマナー意識の十分な確認。</p> <p>I 挨拶の徹底、衣服の着脱の習慣、食べる喜びを感じるとともに、食育の意識向上。排泄の習慣を身に付けます。</p> <p>マナーの点で、人と接する時にしなくてはならないこととしてはいけないことの判断力の修得に努めます。</p> <p>2、集団生活を送るにあたり、必要な思考力、態度と行動を身に付けます。</p> <p>I 集団のルールを理解し、集団の中で自分の動きを意識する力と仲間への思いやりの気持ちを養います。</p>	<p>1、基本的な生活習慣の形成、ルール順守とマナー意識を確認する力を身に付けます。「4. 0」</p> <p>I 集団生活を送る上で、基本的な生活習慣上大事なことを意識する力を培います。</p> <p>2、集団生活に必要な思考、態度と行動を身に付けます。「4. 0」</p> <p>I きまりの理解と集団の中の自分を考える力を養います。</p>	<p>1、基本的な生活習慣の形成、ルール順守とマナー意識確認の評価。「4. 0」</p> <p>I 子ども達が成長し、社会の一員になる時に備えて、更に数値目標の上位を目指した。</p> <p>2、集団生活に必要な思考力、態度と行動を身に付ける評価。「4. 3」</p> <p>I 自分勝手な行動が良くないことを理解し、きまりの理解と集団の中の自分を考える力を養った。</p>

<p>3 安全・安心な教育環境を整え、子どもの積極的で活発な活動を促します。</p>	<p>1、安心・安全な教育環境の整備に努めます。</p> <p>2、子どもの積極的な活動力を培います。</p>	<p>1、安心・安全な教育環境の整備</p> <p>I 園全体の安全確保（セキュリティー）と保育室の環境整備努めます。</p> <p>II 戸外プール時の安全対策に努める。</p> <p>III 安全意識を高め、積極的に運動等ができるようにします。</p> <p>IV 登降園時の安全対策。けがの予防や感染予防に努めます。</p> <p>V 防災・避難訓練を実施します。</p> <p>2、子どもの積極的な活動力を培います。</p> <p>I 教材・遊具・用具を利用して、活発な行動を身に付けるようにします。</p> <p>II 植物や野菜の栽培や飼育を通して、命の大切さを積極的に気づかせます。</p> <p>III 遠足等の行事で視野を広げ、人との触れ合いの場を積極的に作ります。</p>	<p>1、安心・安全な教育環境の整備「4. 0」</p> <p>I 登降園での安全対策に努めるとともに、病気・けがの予防指導をします。</p> <p>II 作成した「戸外プール安全管理マニュアル」を周知徹底します。</p> <p>IV、災害が発生した時に安全に対応できる力を培います。</p> <p>2、子どもの積極的な活動力を培う。「4. 0」</p> <p>I 園内にある教材等を利用する意識を大切にして、積極的に活動できる力を培います。</p> <p>II 園外での機会を通して、視野を広げる力を培います。</p>	<p>1、安心・安全な教育環境の整備評価。「4. 2」</p> <p>I ケガ・感染予防への意識を高めるとともに、予防対策と流行に向けて情報を発信した。</p> <p>II 教育環境を整えることで、保護者からの信頼度も高まることを期待した。</p> <p>III 災害時の想定される被害を前提にした避難対策の作成をすることで、保護者の安心に繋がること。また、「ミマモルメ」等の連絡手段への信頼度に答えるようにした。</p> <p>2、子どもの積極的な活動力の育成評価。「4. 2」</p> <p>I 施設だけでなく、やる気と意欲を持つなど意識向上を目指した。</p> <p>II 園外行事の際の、意識付けや興味からくる前向きな力を培った。</p>
<p>4 教育課程を通して積極的に取り組む行動や友達と助け合い協力する態度を身に付けます。</p>	<p>1、教育環境の整備、充実を図ります。</p> <p>2、教職員の資質向上を図ります。</p>	<p>1、教育環境の整備、充実を図ります。</p> <p>I 運動や遊びを通して、挑戦しようとする気持ちや技能を養います。</p> <p>II 読む・書く・数えることに興味を持ち、主体的に考え、表現する力を養います。</p> <p>III 友達と一緒に喜んで活動に取り組み、努力や力を合わせる大切さを学びます。</p> <p>2、教職員の資質向上を図ります。</p> <p>I 週案を重視しながら、年間目標、中間報告等常に PDCA サイクルを回すようにします。</p> <p>II 教職員同士の協力体制・連携の強化しながら、教育力の向上・教育内容の充実を図ります。</p>	<p>1、教育環境の整備、充実を図ります。[4. 0]</p> <p>I クラスの情報を学年として共有しながら、子ども達の積極的な動きやアクティブラーニングを視野に入れた保育に努めます。また、保育力向上のためにも、園内研修の充実を図ります。</p> <p>II 発表会などの行事を通して、協力する大切さとやり遂げた喜びを味わえるような保育をします。</p> <p>2、教職員の資質向上を図る。[4. 0]</p> <p>I 各学年目標を明確化し、目標達成度をチェックします。</p> <p>II 教職員の協力、連携を強化し、保育力、教育力を高め、教育内容の充実を図ります。</p>	<p>1、教育環境の整備と充実度の評価。「4. 3」</p> <p>I 教育環境を整え、子ども達が楽しく園生活を送るだけでなく、クラス間の情報共有を強化し、園内研修をより充実させた。</p> <p>II 「運動会」や「各発表会」などを通して、協力することの大切さや努力すること、また、やり遂げた時の喜びを味わえるようにした。</p> <p>2、教職員の資質向上評価。「4. 1」</p> <p>I 目標の明確化と情報共有を重視し、丁寧で、積極的な保育に取り組んだ。また、目標達成度を常にチェックした。</p> <p>II 各行事にむけて、準備・片付けなどは、特に教職員の協力、連携を重視しながら取り組んだ。そして、教育力向上と、教育内容の充実を図るようにした。</p>
<p>5 子どもの個性・発達・特性に応じた指導を丁寧に行ないます。</p>	<p>1、健康で活発な子ども、気がついて自然と優しくできる子どもに育てます。</p> <p>2、個性の伸長を踏まえた指導支援を行ないます。</p>	<p>1、健康で活発な子ども、気がついて自然と優しくできる子どもに育てます。</p> <p>I 遊びや活動を通して、人との触れ合い協力を心身の調和の基礎を培います。</p> <p>2、個性の伸長を踏まえた指導支援を行ないます。</p> <p>I 一人ひとりの子どもの個性・発達・特性に応じた指導を行ないます。</p>	<p>1、健康で活発な子ども、気がついて自然と優しくできる子どもに育てる。「4. 0」</p> <p>I 園に行くことを楽しみにして、喜んで行事にも参加できるようにします。</p> <p>2、個性の伸長を踏まえた指導支援を行なう。「4. 0」</p> <p>I 子ども個々の成長、発達、特性の違いを踏まえ、個性を尊重する指導支援を行ないます。</p>	<p>1、健康で活発な子ども、気がついて自然と優しくできる保育力評価。「4. 2」</p> <p>I 園に行くことを楽しみにしているという項目が、保護者アンケート評価で高数値なのは、教職員の保育姿勢と、園の体制、保護者の理解などが上手にかみ合っていると推察した。しかし、慢心を持たないように常に謙虚な姿勢で保育活動を続けた。</p> <p>2、個性の伸長を踏まえた指導支援評価。「4. 1」</p> <p>I 成長過程で、個人として気になる点から、集団生活を送る上での問題点まで意識し、保護者の理解が得られることを大切にした。</p>

<p>6 保護者・地域・小学校と連携した教育活動を実施します。</p>	<p>1、保護者との連携を重視してゆきます。</p> <p>2、地域の理解や協力を得ながら、連携して豊かな教育活動を実施します。</p> <p>3、幼小連携の交流会や研修に参加し、特に内部進学強化と推進を図ります。</p>	<p>1、保護者と連携し子どもの成長をみてゆきます。 I 保護者との密な連絡と連携を図り、豊かな教育活動に努めます。</p> <p>2、地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動を実施します。 I 保護者・地域住民へ情報を提供し、教育活動の支援と奨励に努めます。</p> <p>3、幼小連携の交流会や研修に参加し、特に内部進学強化と推進を図ります。 I 子どもの育ちについて、公立小学校への教育と充実に努めます。</p>	<p>1、保護者と連携しながら意識を高めて、共に子どもを育てる。「4. 0」 I 保護者との信頼関係を築く努力続け、常に連携を取って、連携を続けます。 II 保護者からの相談などに対して誠実に対応し連携を図ります。</p> <p>2、地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動を実施します。「4. 0」 I 子育て相談・談話会・見学会・園庭開放の普及を実施します。</p> <p>3、幼小連携の交流会や研修に参加し、特に内部進学強化と推進を図ります。「4. 0」 I 幼保小合同研修会等に積極的に参加するようにします。</p>	<p>1、保護者と連携しながら意識を高め、充実を図る評価。「4. 3」 I 園からの連絡体制を強化することで、保護者との信頼関係を築いていた。 II 保護者からの相談などに対して誠実に対応し連携を図った。 III PTA 役員の方や保護者の方との連絡を密にして、園の行事や PTA 主催行事に円滑な運営をした。</p> <p>2、地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動の評価。「4. 2」 I 保護者参加型の行事でも、子育て相談・談話会・見学会・園庭開放などの連絡を丁寧に行なった。</p> <p>3、幼小連携の交流会や研修に参加し、特に内部進学強化と推進度評価。「4. 0」 I 幼少接続が重視されている現状の中、幼保小合同研修会等に参加し、情報を収集した。 II 内部小学校においては卒園児の状況を早い段階で伝えるようにした。</p>
<p>7 教職員の研修を推進し、幼稚園運営体制の充実を図ります。</p>	<p>1、園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図ります。</p> <p>2、教職員の協力・連携を強化し、教育力の向上と教育内容の充実を図ります。</p>	<p>1、園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図る。 I 研修会での情報の共有化を行ない、研鑽し、保育力をつけるようにします。</p> <p>2、教職員の協力・連携を強化し、教育力の向上と教育内容の充実を図る。 I 学年目標の明確化を実施するとともに、週案を重視して、その到達度を確認してゆきます。</p>	<p>1、園外・園内研修会を促進し、また、充実させ教職員の資質向上を図る。「4. 0」 I 園内研修や園外の研修会に積極的に参加して、情報を共有して、保育力向上を図ります。</p> <p>2、教職員の協力・連携を強化し、教育力の向上と教育内容の充実を図る。「4. 0」 I 学年目標を設定し、全員出来ることを視野に置き指導するとともに、常に到達度を確認するようにします。</p>	<p>1、園外・園内研修会を促進したことによる教職員の資質向上評価。「4. 2」 I 園内研修の実施や園外の研修会の参加を積極的にするだけでなく、その後の報告・反省会で、情報を共有して、保育力向上を図った。</p> <p>2、教職員の協力・連携を強化し、教育力の向上と教育内容の充実度評価。「4. 2」 I 学年目標に視点を見据えた保育をしたが、各個人の能力による到達度にも注視した。</p>

<p>8 幼稚園入園希望の保護者のニーズを研究し、受験者数増加につなげます。</p>	<p>1、幼稚園を取り巻く現状を調査し、募集対策を強化します。</p> <p>2、預かり保育を見直し、実施する期間や内容を検討します。</p>	<p>1、幼稚園を取り巻く現状を調査し、募集対策を強化します。</p> <p>I 2019年10月からの幼児教育・保育の無償化の対応を検討してゆきます。</p> <p>II 園の情報をより早く伝えられるようにします。</p> <p>III ホームページ閲覧につながる情報提供の仕方を検討してゆきます。</p> <p>IV 子ども子育て支援法にそって、保育を必要とする世帯の対応を検討します。</p> <p>V 満三歳児の受け入れを検討します。</p> <p>2、預かり保育を再検討し、保護者が預けやすいシステムにする。</p>	<p>1、幼稚園を取り巻く現状を調査し、募集対策の強化を検討します。「4. 0」</p> <p>I 保育料の関係の手続きを、10月から大幅に変更します。</p> <p>II 園からの様々な行事の案内文書が続けるとともに、インターネットを媒体にした園紹介分野（Instagram）をこれからも続けます。</p> <p>III 園見学・説明会、入園募集説明会の参加者増につながるように、インターネットやポスター、チラシなど多くの媒体を使うようにします。</p> <p>IV 幼稚園型認定こども園移行に向けての準備に取り掛かります。</p> <p>V プロジェクトチームを結成して、11月入園に向けて準備をした。</p> <p>2、預かり保育を見直し、保護者が預けやすいシステムにする。「4. 0」</p> <p>I 預かり保育の手続きの仕方の検討し改善します。また、保育内容も常に幼稚園側と打ち合わせをし、ニーズに合うようにします。</p>	<p>1、幼稚園を取り巻く現状調査と、募集対策の強化評価。「4. 2」</p> <p>I 無償化により10月から複雑になった手続きにおいて、保護者に混乱がないように連絡を密にした。</p> <p>II 園からの様々な行事の案内文書が続けるとともに、WEB広告、郵便による年齢によるターゲット絞ったポスティング。Instagramによる園紹介など、募集広報活動の工夫を続けた。</p> <p>III 園見学・説明会、入園募集説明会の参加者増につながるように、インターネットやポスター、チラシなど多くの媒体を使い、またホームページの改良も行なった。</p> <p>IV 幼稚園型認定こども園移行申請を大阪府に提出した。</p> <p>V 満三歳児クラスを11月より開設し受け入れた。次年度に向けて改善を図った。</p> <p>2、預かり保育の見直しと保護者の利便性の検討評価。「4. 2」</p> <p>I 預かり保育の手続きの仕方の検討をし、週間チケットなど手続きの改善とともに、保育内容も担当者ミーティングを繰り返し、より保護者ニーズに合うようにした。</p>
--	---	---	--	--